

# 虹の会 通信



NPO法人障がい者福祉の虹の会  
 本部：神奈川県座間市入谷東2-8-3-912  
 HP：https://www.nijinokai-sasaeai.com Email:ohba\_zama\_3\_912@r.sannet.ne.jp  
 TEL:090-2484-5426 FAX:046-256-0560  
 支部：神奈川県大和市深見3212-7 Email:kj6.yamaga@gmail.com

## 法人設立記念講演会開催！

令和4年9月4日（日）、ユニコムプラザさがみはら（相模原市南区）のセミナールーム2を会場に「明石家の歩み〜自閉症の息子とともに〜」を開催しました。

本会は、座間市・座間市社会福祉協議会・大和市・大和市教育委員会の後援のもと開催された法人設立記念講演会であり、NPO法人障がい者福祉の虹の会「研修会事業」の第一弾となります。

当日は、まだ蒸し暑さが残る秋晴れの中、福祉施設職員、障がいのある子のご家族、大学名誉教授、弁護士、関係者など延べ51名が参加し、まさに記念講演会にふさわしい盛会となりました。

### 自分らしく生きること

講師は明石洋子氏（社会福祉法人あおぞら共生会副理事長・

写真①）ならびに志賀利一氏（社会福祉法人横浜やまびこの里理事、相談支援部長・写真②）。

これまでどのように自閉症である長男・徹之君と地域の中で歩んできたのですか？と志賀氏の質問形式の導入から講演会が始まりました。



志賀利一氏

「できない事をできるようにしよう」は失敗でした！と笑う明石氏。

沢山の悔しさや涙の失敗エピソードを惜しげもなく軽快に話す明石氏は「地域で生きる」をずっと言い続け、伝え続けて良かった、と。

「本人のしたいという気持ち育てることが、地域の中で徹之の自立や成長を助ける。それが自分らしく生きるということなんです」

イラスト付きの徹之君のいわば「取説書」を作り配ったエピソードや、学校のクラスメイトの保護者からのクレームに涙をふり絞って根気よく対応したこと等、地域の中に徹之君の生きる場を作ろうと必死に伝え続けた母の姿がありました。

### 知って生きること

初めは、障がいをもっていと不幸なんだ、障がい治らない限り幸せになれないんだ、と思っていたという明石氏。沢山の経験で気付いたのは、「徹之を可哀想な存在にしてはいけない」ということ。

その為には本人のことを知ってもらうこと、受容の輪を広げること。それが地域の中で共に生きることにつながる、と。

「偏見・差別をもっていい人でも、知ることが高の支援者になる」

こう力強く述べた明石氏は、やはり『最強の母』。その強さは、明石氏の知恵と勇気、本気の行動力の賜物なのでしょう。

終演間近、志賀氏より、徹之君の公務員試験にまつわるエピソードトークをリクエストされ、会場が笑顔に包まれました。

《次回の講演会》  
 2023年2月18日（土）ユニコムプラザさがみはらセミナールーム2にて開催します。



講演会当日参加者に配布された冊子



明石洋子氏